

『全国ろう学生集い』参加者の声

八月四日から八日の四日間にかけて、栃木県で行われた『全国ろう学生集い』に参加した方たちから報告文を頂きました。

・小野寺功

昨年に引き続き、今年も全国ろう学生集いに参加してきました。今年のろう学生集いは、昨年と比べるとろう学生と交流することが出来たと思います。しかし、その反省点として、手話を使ってコミュニケーションすることについて、まだまだ経験不足、力不足だということを感じました。来年度は参加してない人に、是非参加してもらいたいです。出来ることなら来年も参加したいと思います。

・藤村浩以

全国ろう学生集いでは生きている手話が飛び交っていて、ろうの世界に入った感覚でした。同年代のろう学生の友達もできました。そんな中、自分の手話

の未熟さにも実感してさらに手話に対して、またろう

に対する興味がわきました。とても充実したものでした。

・布田美穂子

一回目となる集いへの参加。自分の手話に対する思いなど、改めて考えさせられることが多く、良いきっかけの場になりました。また、新たな仲間もでき、手話という言葉で全国に繋がりをもちこの嬉しさを感じました。

・伊藤康宏

私は今回、全国ろう学生の集いに参加しました。参加して、とても良い経験が出来たし最後はとても楽しく追われて良かったと思います。来年も行ける機会があれば、手話をもっと覚えて友達を作りに行きたいと思っています。

・大原麻美

今までと全く逆のような環境の中に飛び込んで、手話で伝えようとする気持ちや、テイクの大切さなど、色々なことを学ぶことができました。集いに参加したことは、自分の視野を広げる良いきっかけとなりました。

・齊藤友通

私は全国ろう学生の集いに参加して、たくさんの方の人たちと出会いました。その中で私は手話は伝えようとする気持ちが大切だということに気づきました。これからは、その気持ちを忘れずに手話を続けていきたいです。

・森下南

集いに行くと、ろう者や手話に対する自分の考えが変わりました。ろう、健聴に関わりなく、伝えたいことは心で伝えるのだと、気付きました。集いに行くと本当に良かったです。来年も絶対に行きたいです。

・山田洸平

私は、全国ろう学生の集いに参加し、多くのことを学ぶことができました。向こうで学んだことは、今後、必ず生きるでしょう。また、参加したことで、この目標を得ることができました。来年も是非参加したいです。

会強勉話 強化合宿!

九月二六、二七日に定山溪のホテルミリオナーで手話勉強会強化合宿が行われました。今回の参加人数は、三〇人でした。

一日目は、しゃべり場。

全国ろう学生集いの参加による報告・レクリエーションの企画がありました。しゃべり場では、自分が困ったときどうするか??困っている人を見たときどうするのか??というテーマで、六人グループ五つに分かれ、討論しました。まず初めに、水田奈津美さんの講演がありました。その後は各グループで九〇分間話し合いました。討論終了後、各グループの代表者が前に出て討論結果を発表しました。参加者はみんな真剣に話を聞いていました。

夕食をはさみ、レクリエーションが行われまし

た。レクリエーションでは、私は誰でしょうゲーム」となぞなぞ」の二つのゲームをしました。どちらのゲームでも、参加者は楽しんでいました。

文責 伊藤康宏

編集後記

四ヶ月ぶりのバリアフリー通信発行となりました。後期からは、通信は一年生が主体となって作成してゆくことが決まりました。そのため、技術不足人手不足などにより以前よりも見劣りしてしまうものとなってしまいました。が、しかし、これから新・通信班は全力で頑張りますので、陰ながら応援よろしくお願いします。また、原稿作成に協力していただいた皆さん、本当にありがとうございました。